

# 山口県医師会の広報活動

①記者会見

②フォトコンテスト

③県民公開講座

# ① 記者会見

過去に不定期で開催していた記者会見を令和6年度から定例で開催。  
令和6年度は3回実施。

## 1回目：令和6年4月25日（木）

テーマ「山口県の時間外救急と医師の働き方改革について」

出席者：加藤会長、沖中・中村副会長、長谷川常任理事

来場メディア数：12社（うち4社が夕方のニュースで報道・3社が新聞で報道）



**診療時間内受診協力を**  
若手医師減・働き方改革で救急体制支障  
県医師会会見

県医師会の加藤会長は、2日と比べると大幅に少ないという。特に佐藤泰博の若手医師の減少は、救急体制の支障を生じかねない。加藤会長は、2020年以降、救急体制の維持に努めている。加藤会長は、2020年以降、救急体制の維持に努めている。加藤会長は、2020年以降、救急体制の維持に努めている。

加藤会長は「『働き方改革』の推進が、救急体制の維持に努めている。加藤会長は、2020年以降、救急体制の維持に努めている。加藤会長は、2020年以降、救急体制の維持に努めている。」

（以下略）

令和6年4月26日山口新聞

# ① 記者会見

2回目：令和6年8月1日（木）

テーマ「HPVワクチンキャッチアップ  
公費接種について

～無料期間残り実質、あと2か月～

出席者：加藤会長、河村・長谷川・縄田常任理事

来場メディア数：7社（うち2社が

夕方のニュースで報道・2社が新聞で報道）



子宮頸がんワクチン 無料の期限迫る

## 来月中に初回接種を

HPVワクチンの接種を呼びかける  
縄田常任理事(右)



子宮頸がんを予防するヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチンを巡り、国が接種勧奨をやめていた期間に機会を逃した世代への「キャッチアップ接種」の期限が迫っている。必要な3回の接種を無料で受けるには9月末までに初回を終える必要がある。県医師会は「子宮と命を守る大切なワクチン。残り実質2か月の無料期間を逃さないでほしい」と呼びかける。

県医師会呼びかけ 97年度生まれ女性

HPVワクチンは国が2013年、小学6年、高校1年相当の女子を定期接種の対象とした。しかし接種後にしびれなどを訴える人が相次ぎ、国は22年に再開するまでの約9年間、勧奨を控えてきた。

キャッチアップ接種は、この間に機会を逃した1997～2007年度生まれの女性を対象。25年3月まで公費で接種できる。原則6カ月で3回打つため、全て無料で接種勧奨を中止した。その後、安全性や有効性が確認されたとして22年4月に勧奨を再開した。厚生労働省は「専門家の会議で認められないことが改めて確認され、有効性が認められ、安全性が認められた」と上回ると認められたとしている。

受け取るには9月末までに始める必要がある。県医師会によると、期限を過ぎると最大10万円の自己負担となる。

令和6年8月3日 中国新聞



## ② フォトコンテスト

### ○募集概要

対象	山口県在住の方
テーマ	いのち・きずな・やさしさ
審査委員長	写真家 下瀬信雄 氏（山口県萩市在住・第34回土門拳賞受賞）
審査員	山口県医師会長、広報担当理事、広報委員
賞	最優秀賞、優秀賞、下瀬信雄賞、こども賞（※対象：中学生まで）、新人賞（※過去に当コンテストの受賞歴がない方）各1点、佳作若干。
応募方法	2L版の写真を郵送 ※令和6年度よりメールでの応募にも対応

## ② フォトコンテスト

○令和5年度：41名より106作品の応募



最優秀賞「小さな乱入者」



優秀賞「おかあしゃん・・・」

他、下瀬信雄賞、新人賞、子ども賞、佳作5点

## ② フォトコンテスト

○令和6年度：96名より190作品の応募

※メールでの応募を開始したことにより、  
投稿者が倍増



最優秀賞「あれは、なあに？」



優秀賞「ぬくもり」



下瀬信雄賞「泥んこの洗礼」

他、新人賞、子ども賞、佳作5点

## ② フォトコンテスト

被表彰者には、③県民公開講座の中で表彰式を開催。  
表彰式後には写真家で審査委員長の下瀬信雄氏より  
写真の講評をしていただく。  
また、県民公開講座当日には応募作品すべてを展示。



講評の様子



写真の展示

# ③県民公開講座

年1回、山口県医師会主催で開催。

令和5年度：令和5年12月3日（日）

- ・ フォトコンテスト表彰式
- ・ 特別講演「笑い与健康」  
講師：落語家 鈴々舎馬るこ氏
- ・ 来場者 約160名



## 県民公開講座

入場  
無料  
申込不要

日時 2023年12月3日（日） 13:00～15:00（開場12時30分）

場所 山口県総合保健会館 2階「多目的ホール」  
（山口市吉敷下東三丁目1番1号）

13:00～開会

13:05～13:30

第14回

「いのち きずな やさしさ」  
フォトコンテスト表彰式

審査委員長で写真家の下瀬信雄氏（第34回土門拳賞受賞）による表彰作品の講評あり。  
当日、会場にコンテストに応募があったすべての作品を展示。

13:30～15:00 特別講演・落語

# 笑い与健康

れい れい しや ま  
落語家 鈴々舎馬るこ氏

防府市出身。2017年、真打昇進。  
「初めて落語を見る人でも大爆笑」をモットーに、古典落語、新作落語、改作落語とジャンルを問わず、「面白さ」を中心に独自のアレンジで高座に上がる。  
『落語制限初天神』、『イタコ度重言メロディー』など、これまでの落語になかった独特の笑いを展開。  
BS日テレ『笑点特大号』若手大喜利にレギュラー出演中。

主催

一般社団法人山口県医師会

お問い合わせ先

山口県医師会 TEL:083-922-2510

- ・ 手話通訳、要約筆記を用意しております。
- ・ 駐車場につきましては、数に限りがありますので、出来るだけ公共交通機関をご利用願います。
- ・ 満席の際は入場をお断りすることもございます。



# ③県民公開講座

令和6年度：令和6年12月8日（日）

- ・ フォトコンテスト表彰式
- ・ 花粉症対策セミナーとして、  
花粉症の周知啓発を実施
- ・ 特別講演「哲学で心身共に  
健康になる方法」

講師：哲学者・

山口大学国際教養学部教授 小川仁志 氏

・ 来場者 約200名

**2024 12.8** 日 13:00~16:00 (開場12時30分)

**県民公開講座**

山口県総合保健会館  
2階「多目的ホール」  
(山口市吉敷下東三丁目1番1号)

特別講演 14:55 ~ 15:55

**哲学で心身共に健康になる方法**

講師：山口大学国際総合科学部教授  
小川仁志

心と身体に関する哲学の叢知を紹介しながら、現代社会を生きる私たちが健康に生きるための一風変わったヒントを提案します。

(プロフィール)  
哲学者・山口大学国際総合科学部教授  
小川仁志 (おがわひとし)  
1970年京都生まれ。京都大学法学部卒、名古屋立大学大学院博士後期課程修了。博士(人間文化)。専門は公共哲学。商社マン(伊藤忠商事)、フリーター、公務員(名古屋市政府)を経た異色の経歴。香川県専任教授、ブリストル大学客員研究員等を歴任。哲学をベースにした課題解決に取り組む傍ら、市民のための「哲学カフェ」を主宰するなど哲学の普及に努めている。NHK・Eテレ「世界の哲学者に人生相談」や「ロッチと子羊」で指南役を務めたほか、現在テレビ東京「五輪の深いクイズ」TBS「TBS」に出演中。著書に「不条理を乗り越える」(平凡社新書)、「前向きに、あきらめる 一歩踏み出すための哲学」(集英社クリエイティブ)など100冊以上。YouTube小川仁志の哲学チャンネル」でも配信。  
公式HP <http://www.philosopher-ogawa.com/>

プログラム **入場無料**

13:00~開会  
13:05~13:25  
第15回  
**「いのち きずな やさしさ」  
フォトコンテスト表彰式**

審査委員長で写真家の下瀬信雄氏(第34回土門拳賞受賞)による表彰作品の展示あり。当日、会場にコンテストに応募があったすべての作品を展示します。

**花粉症対策セミナー** 13:25 ~ 14:45  
**山口県の花粉情報システムと  
令和7年のスギ花粉飛散予測**  
山口県医師会副会長 沖中芳彦

**花粉症について**

広島大学大学院耳鼻咽喉科学・  
頭頸部外科学講師  
石野岳志

\*事前申込については、右記(山口県医師会ホームページ)をご確認ください。  
[http://www.yamaguchi.med.or.jp/yamaguchi\\_info/17492/](http://www.yamaguchi.med.or.jp/yamaguchi_info/17492/)

主催  
**一般社団法人山口県医師会**

お問い合わせ先  
**山口県医師会 TEL:083-922-2510**

- ・ 手話通訳、要約筆記を用意しております。
- ・ 駐車場につきましては、数に限りがありますので、出来るだけ公共交通機関をご利用願います。
- ・ 満席の際は入場をお断りすることもございます。

地図: 山口市吉敷下東三丁目1番1号 山口県総合保健会館